



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	971	△6.2	70	△27.4	63	△40.2	32	△56.3
29年9月期第1四半期	1,035	3.9	96	△2.6	105	6.3	74	35.4

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 29百万円(△75.7%) 29年9月期第1四半期 121百万円(168.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	6.33	—
29年9月期第1四半期	14.27	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	5,432	4,584	84.2
29年9月期	5,577	4,621	82.7

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 4,573百万円 29年9月期 4,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日~平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	0.0	340	△0.4	350	2.0	210	△1.7	40.93
通期	4,300	0.3	480	4.8	500	3.9	300	△10.9	58.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	5,255,000株	29年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	124,443株	29年9月期	124,443株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	5,130,557株	29年9月期1Q	5,209,075株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年10月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いてまいりましたが、一方で海外経済の不確実性等に留意が必要な状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいの傾向となっておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高については前年同四半期（平成28年10月1日～平成28年12月31日）と比べ増加となりました。また、個人のインターネットを利用した支出についても前年同四半期と比べ増加となりました。このような中、スマートフォンの更なる普及（特にSIMフリースマートフォンの普及）に加え、IoT（モノのインターネット）の進展やAI（人工知能）技術の進化等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成29年10月には月間約2億900万回となりました。また、当該サービスの月間利用者数（無料サービスを月に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第1四半期連結累計期間においては約1,400万人となっております、多くの方々にご利用いただいております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は971,378千円（前年同四半期比6.2%減）、営業利益は70,056千円（前年同四半期比27.4%減）、経常利益は63,067千円（前年同四半期比40.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32,451千円（前年同四半期比56.3%減）という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメントの売上高の減少が、マルチメディア事業セグメントの売上高の増加を上回ったこと等により、全体として前年同四半期と比べ減少いたしました。これに加え、営業外収益や特別利益の減少等もあり、利益につきましても減少いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、法人向けの事業における受注等は順調に推移いたしました。納品等は第2四半期連結会計期間に集中する傾向にあり、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期と比べ微増に止まりました。一方で旅行関連の事業やモバイル向け有料サービスにおける売上高は減少し、乗換案内事業全体としては売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。

その結果、乗換案内事業全体としては売上高888,286千円（前年同四半期比10.2%減）、セグメント利益121,682千円（前年同四半期比28.1%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版関連の事業が順調に推移し、売上高は前年同四半期と比べ約4倍となりました。その影響で、損益面でもセグメント利益の計上に至りました。

それらの結果、売上高60,422千円（前年同四半期比276.2%増）、セグメント利益14,605千円（前年同四半期は2,604千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等の事業におきましては、売上高は概ね前年同四半期と同程度となりました。一方で損益面では改善が進み、セグメント利益の計上に至りました。

それらの結果、売上高32,120千円（前年同四半期比4.2%減）、セグメント利益4,202千円（前年同四半期は3,265千円の損失）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成29年9月末）と比較しますと、資産は144,566千円減の5,432,912千円、負債は107,278千円減の848,300千円、純資産は37,287千円減の4,584,612千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、153,242千円減の4,239,619千円となりました。これは、現金及び預金が132,153千円減の3,318,552千円、繰延税金資産が19,438千円減の28,557千円となったこと等によるものです。現金及び預金の減少は、主に賞与や法人税等の支払によるものです。繰延税金資産の減少は、賞与引当金や未払事業税の減少等によるものです。

固定資産につきましては、8,676千円増の1,193,293千円となりました。これは、有形固定資産が1,931千円減の228,140千円、無形固定資産が2,427千円減の116,205千円、投資その他の資産が13,035千円増の848,946千円となったことによるものです。有形固定資産及び無形固定資産は、主に償却が進んでいることにより、やや減少いたしました。投資その他の資産は、敷金及び保証金の増加等があり、全体としてやや増加いたしました。

負債は、流動負債につきましては、103,064千円減の838,551千円となりました。これは、未払法人税等が50,615千円減の18,654千円、前受金が31,460千円減の443,967千円、賞与引当金が48,200千円減の28,650千円となったこと等によるものです。未払法人税等の減少は、主に法人税等の支払によるものです。前受金の減少は、旅行関連の売上に係る前受金が減少したこと等によるものです。賞与引当金の減少は、主に冬の賞与の支払によるものです。

固定負債につきましては、4,214千円減の9,748千円となりました。これは、繰延税金負債が4,213千円減の1,851千円となったこと等によるものです。繰延税金負債の減少は主に、研究開発費損金不算入額の増加によるものです。

純資産は、株主資本が34,246千円減の4,503,823千円、その他の包括利益累計額が4,198千円減の69,957千円、非支配株主持分が1,156千円増の10,831千円となりました。株主資本の減少は、利益剰余金が34,246千円減の4,038,271千円となったことによるものです。利益剰余金の減少は、剰余金の配当が親会社株主に帰属する四半期純利益を上回ったことによるものです。その他の包括利益累計額の減少は、その他有価証券評価差額金が5,533千円減の31,974千円となったこと等によるものです。非支配株主持分の増加は、対象となる連結子会社における利益の発生によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,450,705	3,318,552
受取手形及び売掛金	524,711	535,450
商品及び製品	5,598	7,920
仕掛品	10,875	19,741
原材料及び貯蔵品	4	4
前渡金	222,167	218,414
繰延税金資産	47,996	28,557
その他	140,168	129,030
貸倒引当金	△9,364	△18,051
流動資産合計	4,392,862	4,239,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,901	52,761
機械装置及び運搬具（純額）	2,661	7,925
工具、器具及び備品（純額）	85,710	79,564
土地	87,799	87,888
有形固定資産合計	230,072	228,140
無形固定資産		
のれん	1,959	979
ソフトウェア	113,760	108,801
その他	2,913	6,424
無形固定資産合計	118,633	116,205
投資その他の資産		
投資有価証券	571,127	565,829
敷金及び保証金	221,692	231,531
その他	54,826	63,321
貸倒引当金	△11,735	△11,735
投資その他の資産合計	835,911	848,946
固定資産合計	1,184,616	1,193,293
資産合計	5,577,479	5,432,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	174,718	185,726
未払費用	74,680	72,128
未払法人税等	69,269	18,654
未払消費税等	17,998	28,833
前受金	475,428	443,967
賞与引当金	76,850	28,650
役員賞与引当金	6,000	1,500
返品調整引当金	10,524	16,813
ポイント引当金	3,123	3,121
受注損失引当金	3,534	3,527
その他	29,489	35,629
流動負債合計	941,616	838,551
固定負債		
ポイント引当金	2,498	2,497
繰延税金負債	6,064	1,851
その他	5,400	5,400
固定負債合計	13,962	9,748
負債合計	955,578	848,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,291	287,291
利益剰余金	4,072,517	4,038,271
自己株式	△99,115	△99,115
株主資本合計	4,538,069	4,503,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,507	31,974
為替換算調整勘定	36,648	37,982
その他の包括利益累計額合計	74,155	69,957
非支配株主持分	9,674	10,831
純資産合計	4,621,900	4,584,612
負債純資産合計	5,577,479	5,432,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,035,525	971,378
売上原価	585,530	544,207
売上総利益	449,995	427,171
返品調整引当金戻入額	6,947	10,524
返品調整引当金繰入額	4,272	16,813
差引売上総利益	452,670	420,882
販売費及び一般管理費	356,116	350,826
営業利益	96,554	70,056
営業外収益		
受取利息	161	551
受取配当金	5,896	896
為替差益	9,960	497
受取事務手数料	1,512	83
雑収入	616	240
営業外収益合計	18,147	2,269
営業外費用		
持分法による投資損失	9,000	257
貸倒引当金繰入額	-	9,000
雑損失	221	0
営業外費用合計	9,221	9,257
経常利益	105,480	63,067
特別利益		
固定資産売却益	479	815
投資有価証券売却益	9,500	-
特別利益合計	9,979	815
特別損失		
子会社株式評価損	344	-
特別損失合計	344	-
税金等調整前四半期純利益	115,114	63,883
法人税等合計	40,841	30,275
四半期純利益	74,272	33,608
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	1,156
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,310	32,451

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	74,272	33,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,159	△2,408
為替換算調整勘定	20,457	353
持分法適用会社に対する持分相当額	18,217	△2,143
その他の包括利益合計	46,834	△4,198
四半期包括利益	121,107	29,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,145	28,252
非支配株主に係る四半期包括利益	△37	1,156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	988,317	16,059	1,004,376	31,149	—	1,035,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	373	—	373	2,393	△2,766	—
計	988,690	16,059	1,004,749	33,542	△2,766	1,035,525
セグメント利益 又は損失(△)	169,158	△2,604	166,553	△3,265	△66,734	96,554

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△66,734千円には、のれん償却額△979千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,754千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	888,206	60,422	948,629	22,749	—	971,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	—	80	9,370	△9,451	—
計	888,286	60,422	948,709	32,120	△9,451	971,378
セグメント利益	121,682	14,605	136,288	4,202	△70,434	70,056

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△70,434千円には、のれん償却額△979千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,455千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。